

技術・家庭科 シラバス  
(技術分野) ※内容が変更になることもあります。

	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
教科の目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料を加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力を育てる。		
教科における 学年目標	○材料と加工の技術を客観的に評価し最適な活用方法を考える力や実践する態度を育てる。 ○コンピュータの基礎的・基本的な構成や情報モラルなどについて、技術的に理解し実践する態度を身につける。	○エネルギー変換に関する技術を客観的に評価し最適な活用方法を考える力や実践する態度を育てる。 ○計測・制御の技術の基本的な仕組みを知り、目的に応じた簡単なプログラムを作成する力を養う。 ○メディアの技術の特徴や利用方法を知り、多様なメディアを複合し、表現・発信ができる。	○生物育成の技術の特徴や利用方法を知り、技術を評価し最適な活用方法を考える力や実践する態度を育てる。 ○情報化社会とモラルを身につける。 ○技術を客観的に評価し最適な活用方法を考える力や実践する態度を育てる。
年間授業時数	35時間 (週2時間)	35時間 (週2時間)	17.5時間 (隔週1時間) ※3年のみ3期
学習 内容 ・ 題材	前期	A 材料と加工に関する技術 ○ガイダンス ○材料について ○加工 ○製作品の設計・製作 ○材料と加工の技術の評価と活用 D 情報に関する技術 ○コンピュータの仕組みを知る ○情報モラルを身につける。	B エネルギー変換に関する技術 ○電気機器の保守点検方法 ○エネルギー変換の技術の評価と活用 ○私たちの生活のエネルギーについて D 情報に関する技術 ○身近なプログラム制御を知る。 ○計測・制御システムについて ○プログラムの役割について ○プログラムを利用した作品
	後期		A 材料と加工に関する技術 ○金属の加工法 ○製作品の加工 ○材料と加工の技術の評価 C 生物育成に関する技術 ○生物育成の技術と知識の習得 ○栽培計画と管理作業 ○生物育成に関する技術の評価と活用 D 情報に関する技術 ○デジタル作品の構成を知る。 ○マルチメディアの技術の評価と活用  これからの技術について ○3年間の技術の評価と活用
評 価 の 観 点	1、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術に関心を持ち、適切に技術を評価し活用しようとする態度を評価する。(生活や技術への関心・意欲・態度) 2、技術のあり方や活用の仕方等に課題を見つけ解決するために工夫・創造できるかを評価する。(生活を工夫し創造する能力) 3、実際の生活の場面で必要とされる基本的な技術が身についたかどうかを評価する。(生活の技術) 4、実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身につけているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価する。(生活の知識・理解)		
評価の方法	1、生活や技術への関心・意欲・態度について ○学習前と学習後に同一の質問をし、差異を読み取る。(量・質・内容に変化がみられたか) 2、生活を工夫し創造する能力について ○構想・設計用紙(課題を解決するために、学習した知識・技能を活用されているか) ○工具・ソフトウェアの選択(製作・制作に適した工具・ソフトウェアを選択できているか) ○評価と活用のワークシート(学習した内容や生活体験から、技術を評価しよりよい活用方法を考えられるか) ○ペーパーテスト(学習した知識を活用しているか) 3、生活の技能について ○作業場面(基礎的・基本的な加工法を身につけているか) ○製作・制作品(設計図・構想図通りに製作・制作できるか) 4、生活や技術についての知識・理解について ○ペーパーテスト(基礎的・基本的な知識を習得しているか)		

都幾川中学校 第1学年「技術・家庭科（家庭分野）」シラバス

家庭科の目標

生活の営みや技術に関する見方・考え方を働かせ、生活の技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点（方法）

- ・ 知識・技能
- ・ 思考・判断・表現
- ・ 主体的に取り組む態度

積極的に取り組む態度、作業や実習、実習計画立案への積極性、作品・学習プリント・レポートの記入および提出状況、定期試験などを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・ ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習をおこなう。
- ・ 実践的・体験的な学習を通して、創意工夫する力を育てる。
- ・ 自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭分野のガイダンス</li> <li>○目的に応じた衣服の選択</li> <li>○日常着の手入れと保管</li> <li>○生活を豊かにする物の製作</li> <li>○持続可能な衣生活</li> <li>○住まいのはたらきとこちよさ</li> <li>○安全な住まいで安全な暮らし</li> <li>○持続可能な住生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間の学習内容を知り、見通しを持つ</li> <li>○衣服の役割や着方を理解する</li> <li>○日常着の手入れや補修ができる</li> <li>○衣服の表示の意味を理解する</li> <li>○縫製の基礎を理解し、布を用いた作品を製作する</li> <li>○住まいの役割と空間の使い方を理解する</li> <li>○家庭内の事故や災害など安全を考えた住まいについて理解する</li> <li>○持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方を知る。</li> </ul>

都幾川中学校 第2学年「技術・家庭科（家庭分野）」シラバス

家庭科の目標

生活の営みや技術に関する見方・考え方を働かせ、生活の技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点（方法）

- ・ 知識・技能
- ・ 思考・判断・表現
- ・ 主体的に取り組む態度

積極的に取り組む態度、作業や実習、実習計画立案への積極性、作品・学習プリント・レポートの記入および提出状況、定期試験などを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・ ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習をおこなう。
- ・ 実践的・体験的な学習を通して、創意工夫する力を育てる。
- ・ 自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食事の役割と食生活</li> <li>○ 中学生に必要な栄養を満たす食事</li> <li>○ さまざまな食品とその選択</li> <li>○ 日常食の調理</li> <li>○ 肉、魚、野菜の調理</li> <li>○ 地域の食文化</li> <li>○ 持続可能な食生活</li> <li>○ 家庭生活と消費</li> <li>○ 購入・支払いと生活情報</li> <li>○ 消費者被害と消費者の自立</li> <li>○ 持続可能な社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食事の役割を理解し、毎日の食事に関心を持つ</li> <li>○ 中学生の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。</li> <li>○ 生鮮食品と加工食品の特徴を理解し食品の安全や情報に関心を持って正しい選択ができる</li> <li>○ おいしさと調理の関係および調理の手順を理解し簡単な日常食の調理ができる</li> <li>○ 環境に配慮した食生活の工夫を心がける</li> <li>○ 消費生活のしくみを理解する</li> <li>○ 生活情報の収集や活用の仕方を理解する</li> <li>○ 消費者被害の予防方法を理解し、自立した消費者をめざす</li> <li>○ SDGsの取り組みを考える</li> </ul>

都幾川中学校 第3学年「技術・家庭科（家庭分野）」シラバス

家庭科の目標

生活の営みや技術に関する見方・考え方を働かせ、生活の技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点（方法）

- ・ 知識・技能
- ・ 思考・判断・表現
- ・ 主体的に取り組む態度

積極的に取り組む態度、作業や実習、実習計画立案への積極性、作品・学習プリント・レポートの記入および提出状況、定期試験などを総合的に評価する。

特色ある学習方法

- ・ ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習をおこなう。
- ・ 実践的・体験的な学習を通して、創意工夫する力を育てる。
- ・ 自ら課題を見だし、解決を図る問題解決的な学習の充実を図る。

	学習内容	学習のねらい
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長と家族・家庭生活</li> <li>○幼児の生活と家族</li> <li>○遊びの必要性和遊びを支える環境</li> <li>○幼児とのかかわり</li> <li>○家庭生活と地域のかかわり</li> <li>○持続可能な家庭生活</li> <li>○3年間を振り返って</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える</li> <li>○幼児の心身の発達の特徴や基本的な生活習慣の重要性を理解し、家族の役割について考える</li> <li>○実践的・体験的な活動を通して、遊びの意義を理解する</li> <li>○幼児との触れ合い体験を通して幼児の成長や生活習慣の特徴を理解する</li> <li>○地域との相互のかかわりを理解する</li> <li>○地域で活動する高齢者とかかわりを考える</li> <li>○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題を見つけ、実践的に取り組む姿勢を養う</li> <li>○学習した内容をこれからの生活に生かそうとする力を養う</li> </ul>